

施設管理基本計画に基づく施設の長寿命化・修繕・更新の進捗状況

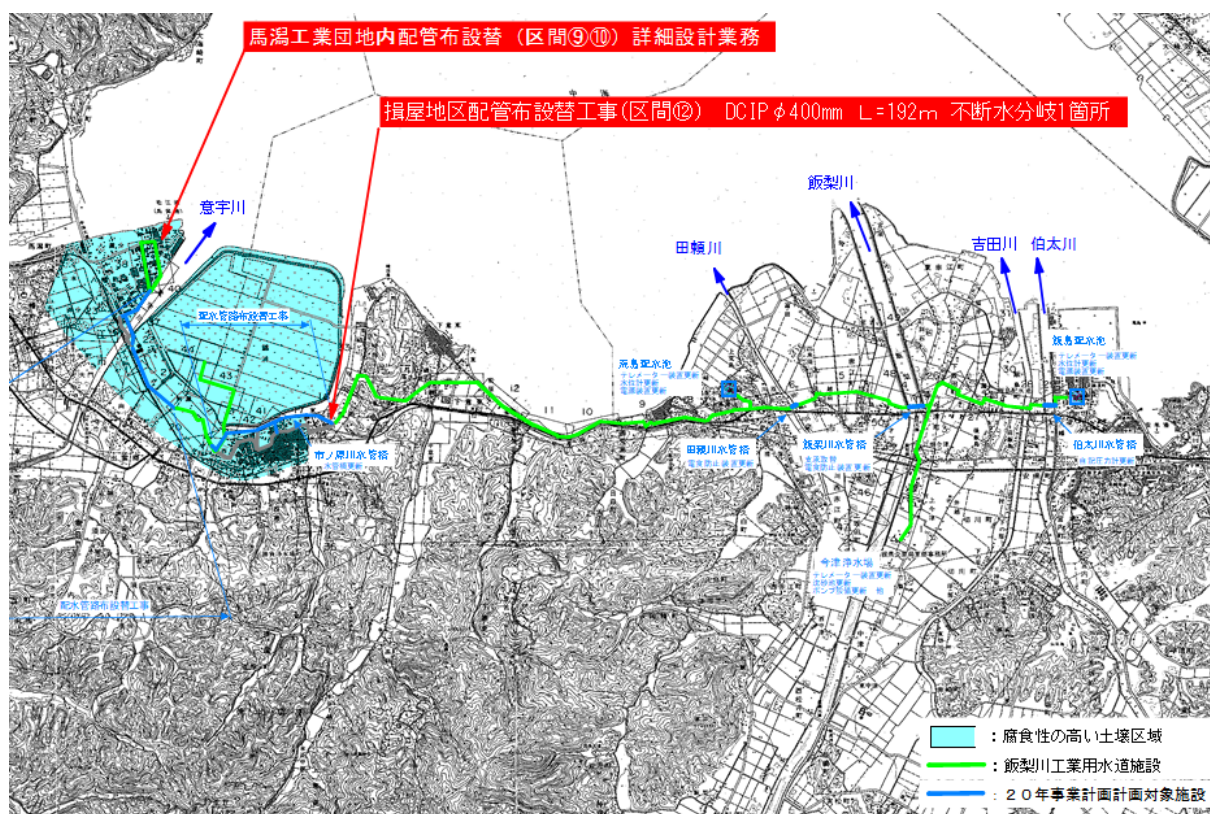
1. 経緯

- ・企業局が運営する工業用水道事業及び水道事業については、給水開始から50年を超える施設もあり、今後、老朽化に伴う大規模な施設の改修・更新が必要な状況となっています。
- ・施設の改修・更新に当たっては、アセットマネジメント手法を用いて策定した「施設管理基本計画」及び「中期事業計画」に基づき、適切な維持管理による施設の長寿命化を図りつつ、耐震対策も含めた施設の大規模修繕や更新を計画的に進めることとしています。

2. 令和5年度の状況

1) 飯梨川工業用水道事業

- ・飯梨川工業用水道は昭和44年の給水開始から50年を超え、施設の老朽化が進行しているため、平成27年度から送水管路の布設替えを進めてきました。
- ・今年度は東出雲町揖屋地区における送水管路の一部区間（約192m）の布設替えと、馬潟工業団地内配管布設替えに係る詳細設計業務を実施しています。



2) 飯梨川水道事業

- ・飯梨川水道は昭和55年の給水開始から40年を超え、施設の老朽化が進行しているため、送水管路の更新検討を行っています。

- ・令和 4～5 年度で、全線のルート検討を行う「送水管路更新計画策定業務」を実施中です。
- ・令和 3 年 7 月豪雨による高濁度原水流入のハード面の対策として「濁色度対策等基本検討業務」を行っています。
- ・今津浄水場の監視システムは平成 17 年の運用開始以来 17 年が経過しており、交換部品が入手困難となってきたため令和 4～6 年で更新を行います。

3. 今後の計画について

今後も計画的な施設の大規模修繕や更新等を行い、県民生活の重要なライフライン及び地域産業のインフラとしての役割を担っていきます。

1) 飯梨川工業用水道事業

- ・送水管路布設替の工事及び詳細設計業務を実施します。また、管路更新で不要になった旧管については、モルタル充填工事を行います。

2) 飯梨川水道事業

- ・引き続き、「送水管路更新計画策定業務」を実施します。また、システム更新や高濁度原水対策を行っています。

4. 斐伊川水道事業（三代浄水場）施設増設について

斐伊川水道の H23 年度供用開始時は、6 池（計画 10 池）のろ過池で運用を始めましたが、契約水量が年々増加したことにより施設能力が不足してきました。

このため、三代浄水場では水質管理を含め非常に厳しい運用を行っており、特に令和 3 年 7 月豪雨による原水濁度上昇時には、ろ過池の能力不足が生じました。

このように運用面での対応が限界に達していることから、令和 8 年度からの出雲市の満量受水(日量 3,600 m³)に合わせ、ろ過池 2 池やポンプ等を増設することとし、令和 5 年度より工事に着手しました。

